

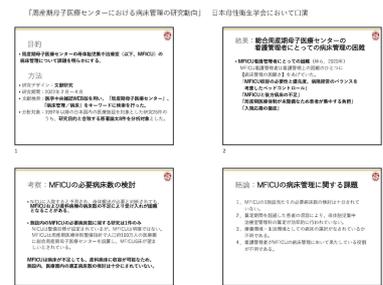
## 母体・胎児集中治療室 (MFICU) の看護管理に関する研究

看護学科 助産・母性看護学領域 林 佳子 講師



## Q. どのような研究をされていますか？

A. 母体・胎児集中治療室（以下、MFICU）の看護管理上の課題、特に病床管理について研究をしています。MFICU はハイリスク対象に高次医療を提供する周産期母子医療センターに設置され、診療報酬で入院から一定期間の集中治療室管理料の算定が可能です。集中治療室管理料を算定しながら適正に病床運用をする必要がありますが、医師不足等の理由により集中治療室管理料を未算定の施設があると報告されています。MFICU の看護管理者は看護人員を配置し、産科医師や産科病棟等と連携して MFICU の入退室の調整を行い、ケア提供する体制を整える役割を担います。先行研究では MFICU の看護管理者が病床管理に困難を抱えていたことから、全国の MFICU の看護管理者を対象に困難と対応について調査を行っています。



## Q. これまでどのような研究をされてきましたか？

A. 少子化、周産期医療の人的資源の不足により、分娩を取り扱う産科医療施設の集約化が進んでいます。出生数は減少していますが、その中でハイリスク母体・胎児の割合は増加傾向にあります。我が国においては過去に搬送の受け入れ先が見つからず、母体や胎児の生命にかかわる事例がありました。搬送や紹介の受け入れ先である MFICU は、施設数が減少している現在においても入院応需の責務を担っています。また、入院後にはハイリスク対象者に質の高いケアを提供することが求められています。所属する研究グループでは、最初に MFICU の看護管理上の課題について調査を行いました。その結果、MFICU では看護職の教育、看護職のストレス管理、病床管理に課題があることが明らかとなりました。その後、研究グループでは、MFICU 所属の看護職への教育ニーズに関する調査を行い、教育プログラムを作成しました。また、現在は病床管理に関する研究と並行して、看護職のストレスに関する研究を行っています。

## Q. 将来の展望をお聞かせください。

A. これまで MFICU に焦点を当て、同所属の看護管理者や看護職からデータ収集をしてきましたが、MFICU の看護管理は産科病棟との関連が深く、新生児集中治療室 (NICU) や看護部および施設の方針を大きく受け取っていると実感しています。MFICU の看護管理に関する研究ながら、研究対象の範囲、研究方法についてさらに検討を重ねる必要があると考えています。MFICU での看護提供体制を整え、質の高い看護が実践されるの役立つ研究へと発展させていきたいと考えております。

## もう少し知りたい！と思った方はこちらへ

- 看護学科母性看護学領域 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/ns/ns\\_bosei.html](https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/ns/ns_bosei.html)

- 助産学専攻科 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/a\\_mdwf/](https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/a_mdwf/)